

本学の資金運用について

2015年3月末の資金運用状況を報告いたします。

本学の運用は満期保有を目的とした債券中心の有価証券に投資を行っており、元本の安全性を重視したものになっています。

2014年度決算は、2013年度に引き続き運用方針に沿い、奨学基金については債券に、一般会計については、流動性を担保しつつ投資を行ってきた結果、有価証券購入支出 2,373 百万円を計上しました。そのうち残存期間 1 年以上の有価証券への投資は 1,700 百万円でした。2015年度以降も引き続き、元本の安全性を確保した運用を行ってまいります。

なお、本学が保有する有価証券の中には一般企業（未上場企業）への投資を目的とした有価証券（元本 500 百万円）があります。2014年4月～12月期にかけて株式相場および IPO 市場の復調により、投資先の一部企業が株式売却益をあげたものの、多くの企業は厳しい状況が続いたことから、2014年度決算では、本学投資分において有価証券売却差額 2 百万円の計上となりました。

また、学校法人会計基準では、貸借対照表の注記欄に保有する有価証券の時価情報を記載することが定められています。資産計上額と時価評価額との差額は、2014年度決算では 1,103 百万円でしたが、2014年度決算においても時価の回復により時価評価額が資産計上額を 1,410 百万円上回りました。

以上